

科目区分	専門分野	授業科目	生活援助技術Ⅱ
講師	看護教員	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次 第1学期～第2学期
授業概要 *講師からのメッセージ	看護を実践するためには、対象となる人の観察とアセスメントが重要になります。この授業では、対象となる人の身体を外側から測定する方法とその原理を身につけていきます。また、測定するときの配慮についても考え実践に活かしてほしいと思っています。		
目的：対象に必要な観察を行うための知識と観察技術を修得する			
目標：1. 主要な症状から病態のメカニズムを理解し、必要な情報収集と観察項目を導き出す思考過程を養う 2. 看護における観察の意義を理解し、五感を活用した問診・視診・触診・打診・聴診の知識と技術を修得できる			
回	授 業 内 容	授業方法	
1	フィジカルアセスメントの基本技術ーフィジカルイグザミネーション 問診の基本技術① 全身の観察	講義	
2	フィジカルイグザミネーション 視診、聴診、触診、血圧測定とは	講義	
3	バイタルサインとは	講義	
4	バイタルサイン測定	演習	
5(45分)	バイタルサイン技術試験	技術試験	
6	問診の基本技術② 身体計測とは	講義	
7	医療現場の記録の種類と目的、経過記録 SOAP法、フォーカスチャータリング、フローシート	講義	
8	連絡・報告・相談とは 看護における報告 SBAR法	講義・演習	
9	フィジカルイグザミネーション	演習	
10～15	身体機能別、症状・徴候からのフィジカルアセスメントと報告	シミュレーション	
16	終了試験(45分)		
評価方法	筆記試験(95点) 技術試験(5点) 評価基準参照		
テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ		
参考図書	医学書院：フィジカルアセスメントガイドブック メヂカルフレンド社：はじめてのフィジカルアセスメント メディックメディア：看護が見える フィジカルアセスメント DVD：山内豊明教授のフィジカルアセスメント 総論、問診・視診のポイント 山内豊明教授のフィジカルアセスメント 触診・打診・聴診のポイント 山内豊明教授のバイタルサインの測定 尿量、体温、意識レベル 山内豊明教授のバイタルサインの測定 呼吸、SpO ₂ 山内豊明教授のバイタルサインの測定 血圧、脈拍、心拍		
備考	1. テキストやDVDを視聴し、自己学習・課題をして講義・演習・シミュレーションに参加する。 2. DVD等を活用しながら繰り返し練習を行い、技術の修得に向け取り組む。 3. 基礎看護学実習Ⅰ-②開始までに、フィジカルイグザミネーションの修得をする。		